

# 『ナーシングエイド研修』 研修会実施報告

## 接遇・BLS 研修

日時 : 平成 30 年 6 月 12 日 6 月 19 日  
対象者 : ナーシングエイド 介護福祉士  
参加者数 : 38 人  
目的 : 医療サービスの提供者として、接遇マナーの重要性を  
再確認し、実践する  
急変発見時の初動が的確にできる

### <講師の紹介>

2 B 病棟 師長  
4 B 病棟 師長  
日本救急医学会認定 ICLS コースインストラクター  
3 B 病棟 看護師  
4 B 病棟 介護福祉士



### <内容>



講義の前半では接遇についての研修でした。人の第一印象は初めの 3～5 秒で決まるので言葉・表情・態度に気を付けて接する事が大切であることを学びました。自分がどのような行動をとれば、相手が心地よく感じられるのかを考えて行動することの重要性について学ぶことができました。

後半は BLS 研修でした。BLS を行う際には周囲の安全確認を行い、感染防護を行ってから開始する事でお互いの安全を守れる事を学びました。

AED の使用方法や胸骨圧迫などの実技を行い、AED の使用方法や使用時の注意点、胸骨圧迫を行う時の位置や深さや速さ、リコイルに注意をしながら実際に胸骨圧迫を行う事の大変さを学びました。急変時には早い時間での人、物を集める事の重要性を学ぶことができました。BLS 研修を昨年より参加されている方からは昨年より手技が上手く行えたとの声もあり、継続して行う事の重要性を実感しました。

今回の研修内容を業務にも活かしていきたいと思えます。